かまくら新聞

音更町立共栄中学校 1年A組8番 海老根大智

鎌倉幕府、開府!!

鎌倉幕府が成立するまで

壇ノ浦の戦い

1185年、壇ノ浦(今でいう山口県)で、平清盛率いる平氏と源頼朝率いる源氏が戦った。その結果、源氏が勝利をおさめて、1185年に源頼朝が鎌倉幕府を開府した。戦いでは、頼朝の弟である源義経が大活躍し、平氏は滅んだ。

守護と地頭

平氏の滅亡後、源義経が源頼朝と対立した。そして、頼朝は、義経をとらえることを口実に朝廷に強くせまり、1185年に、国ごとに軍事・警察を担当する守護を、荘園(貴族や社寺の私有地)や公領ごとに現地を管理する地頭を置くことを認めさせた。こうして頼朝は、本格的な武士の政権である鎌倉幕府を開いた。その後、頼朝は、義経が平泉の奥州藤原氏のもとにのがれると、義経と奥州藤原氏も攻め滅ぼし、東日本を支配下に置いた。

そして、1192年頼朝は征夷大将軍に任命された。

頼朝の死後

頼朝の死後の幕府の実権は、有力な御家人をまとめた北条時政がにぎっていた。北条氏は将軍の力を弱めて執権という地位に就き、代々その地位を独占した。幕府の政治は、鎌倉時代半ばごろまでは執権を中心とした有力な御家人の話し合いで行われた。(執権政治)そして、1221年、承久の乱が起こったが幕府が勝利し、その後京都に六波羅探題を置いて、御成敗式目を定め、さらに支配力を高めた。

承久の乱

朝廷の勢力を回復しようとしていた後鳥羽上皇が、朝廷に協力的だった第三代将軍の源実朝が暗殺されると、幕府をたおそうと兵を挙げた。しかし、幕府の軍が上皇の軍を破り、勝利した。これが承久の乱である。

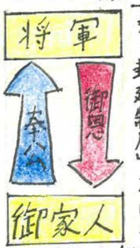
この戦いでは、朝廷幕府の軍は、を相手に戦っている。ということは、幕府の軍は日本で一番大切な存在である天皇に弓を引いてしまうことになる。これには御家人も悩んでしまって、そこで、北条政子が御家人に向けて演説を行ったという。幕府が危ないのに御家人が悩むという少し不思議でおもしろい話がある。

御恩と奉公

御恩と奉公は、幕府の将軍と御家人の主従関係から生まれた。

御恩は、将軍が御家人の領地を認めて保護したり、功績があったときには新しい領地を与えたりすることで、奉公は、御恩を受けた御家人が、将軍に忠誠を誓い、戦いのときには一族を率いて将軍のために戦うことである。

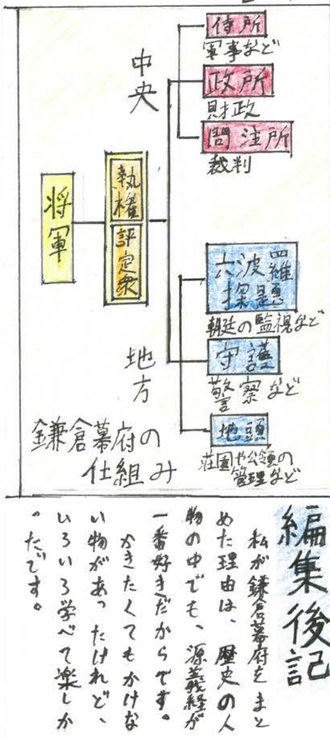
このような、土地を仲立ちにした主従関係を「封建制度」という。



言葉のコーナー! ―いざ鎌倉

今も慣用句として使われる、「いざ鎌倉」。この言葉の由来は、鎌倉時代、幕府に一大事があれば、「いざ鎌倉に馳せ参じよう」との心意気を御家人(将軍に忠誠をちかった武士)たちが抱いていたのが由来といわれている。意味は、「さあ、一大事が起こった」というような意味で、「すわ鎌倉」という言い方もあるそうだ。

このような言葉があるのも、日本のいいところだと思うので、ぜひ使ってみてほしい。



元寇と幕府の滅亡

元は、日本を従えようと使者を送ってきたが、北条時宗がこれを無視したため、1274年に元の軍勢が攻めてきた。そして、一度引きあげてから、1281年に、再び日本に攻めてきた。しかし、防塁や御家人の活躍により、元軍は上陸できず、暴風雨にあって大きな損害を受け、引きあげていった。(元寇)その後、御家人の生活が苦しくなっていくなどで幕府に対する反感が強まり、1333年に鎌倉幕府は倒幕され、滅亡した。

編集後記

私が鎌倉幕府をまとめた理由は、歴史の人物の中でも、源義経が一番好きだからです。かきたくてもかけない物があったけれど、いろいろ学べて楽しかったです。